

ノヤマ通信

vol.34 (2025.皐月)



森のようちえんヒュッテ

【4月の活動記録：10日タケノコ掘り、17日宇和運動公園、21日山の基地、24日愛宕山公園】

●活動を見つめるコラム

「ついつい“先回り”をしていませんか？」

私たちは、森のようちえんヒュッテに初めて参加される方にお渡ししている資料の中で、「活動中は“危ない”、“汚い”、“ダメ”、“早く”といった、子どもの行動をコントロールするような言葉はできるだけ控えてみてください」とお願いしています。こうした言葉は、子どもたちの「やってみたい」「遊びたい」という気持ちにブレーキをかけたり、自分で考えるチャンスを奪ってしまうことがあるからです。だからこそ、使う場面はちょっと慎重に選びたいと思っています 🙄。

でも実は、こうした言葉を使っていなくても、同じような影響を与えてしまう関わり方があるんです。それが“先回り”。

たとえば—

- 子どもが転ばないようにと、手を引いて歩く。
- (着替えがあるのに) 泥んこ遊びをしないように、水たまりを避けさせる。
- 木やハシゴに登っているとき、モタモタしているのを見て、つい抱きかかえて上まで運んでしまう。

こうした行動は、言葉にしていなくても、「危ないよ」「汚れるからやめて」「早くして」と伝えているのと同じようなものかもしれません。その結果、子どもたちは試行錯誤したり、チャレンジや失敗したりする機会を逃してしまうこともあります。

せっかく森のようちえんに来ているのだから、少しずつ場や仲間慣れしてきたら、子どもの発達段階(≒年齢)に合わせて、ちょっと危なそうなことや汚れそうなことにも「よ～し、やってごらん👍」と見守ってあげてられるといいですね。

子供にかける“言葉”と同じくらい、“関わり方”にも意識を向けてみてもらえるとうれしいです。(ゆ)



▲4/24森のようちえんヒュッテ@愛宕山公園(野村)

👤👤 山の基地

【4月の活動記録：2日、4日、7日、8日、23日/日常管理、13日、29日/開放日】

●4/2、森のようちえんヒュッテのお母さんたちで集まれる人に来てもらって、山の基地の管理をしました。

フィールドを見回って危険箇所の確認をしたり、小屋の中のレイアウトの変更について話し合ったり。子どもたちの姿を思い浮かべながら、みんなで色々アイデアを出し合うのは、とてもいい時間でした。

ここで出たアイデアをもとに少しずつ、基地を手入れしています。



●4/29の開放日、午前中はあやみさんによるヨガ体験でした。

自然のリズムに合わせてゆったりと運動することで、こころと身体がほぐされました～。ほしのねさんの発酵玄米ランチもヘルシーなのに食べ応え十分でした 😊!



✿✿ その他の活動

●クラウドファンディング達成！



森のようちえんを広めるために、えひめ自然保育連盟（ノヤマカンパニーも加盟しています）が取り組んでいたクラウドファンディングが、4月18日に終了しました。

おかげさまで目標金額を上回るご支援をいただき、愛媛の森のようちえんをテーマにしたドキュメンタリー映画の制作とお披露目となる上映会に向けて、いよいよ本格的に動き始めます🎬！

映画が完成したら、東予・中予・南予で上映会を開催する予定で、西予市でも企画を進めています。詳細が決まり次第、あらためてご案内いたします。

●えひめ自然保育連盟の総会に参加（4/26）

西条で、えひめ自然保育連盟の通常総会が開かれました。今年度の事業計画や、現在制作中の森のようちえんの映画のこと、各団体の近況、そして連盟としての今後の目標など、さまざまなことを話し合いました。



今回の会場は、西条森のようちえんおむすびを主宰している皆尾さんのお宅。家の目の前の柿畑が森のようちえんのフィールドで、耕作放棄地を活用しているそうです。なだらかで開放的な空間で、子どもたちがのびのびと遊ぶ姿が印象的でした。



●ネイチャージャーナル展へ（4/27）

だいちのめ第8号で取材させていただいた小林絵里里さんが、高知県立森林研修センター情報交流館で展示をされるということで、見に行ってきました。今年の夏に西予市でもネイチャージャーナリングのイベントや展示をさせてもらう予定なので、その時はぜひ遊びに来てもらえるとうれしいです。



✿ いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。

ジロボウエンゴサク

筒状の細長い花が特徴的で、全体的に淡く繊細な印象です。有毒。

（4/21山の基地）



👂 よもやま話

●小5の長女が「最近、自由がない」とぼやいています。高学年になって学校での役割が増えたり、勉強が難しくなったりして、いろいろ大変なことがあるようです。先日は、「1年生の〇〇くんがそうじの時間に全然そうじをしない、『そうじして』って言っても全然きかんのよ！」と怒っていました😓。

長女にとって「自由」とは、自分のやりたいことをできる時間のこと。漫画を読んだり、好きなことをしたり、だらだらしたり—そんな時間もって欲しいそうです。親の目から見ると、「いや、わりと日々やっているような…？😓」と思ったりもするのですが。だから、末っ子が森のようちえんに行く日は「いいなあ」と言うこともあります。

ちなみに長女は習い事は何もしていません。でも、同級生の中には水泳やらダンスやらいろいろ予定がある子もいるようで。そういう子たちは、自由な時間とのバランスをどういう風にとっているのだろう…と、ふと気になることもあります。

（ゆ）



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

✉ noyama.company@gmail.com